

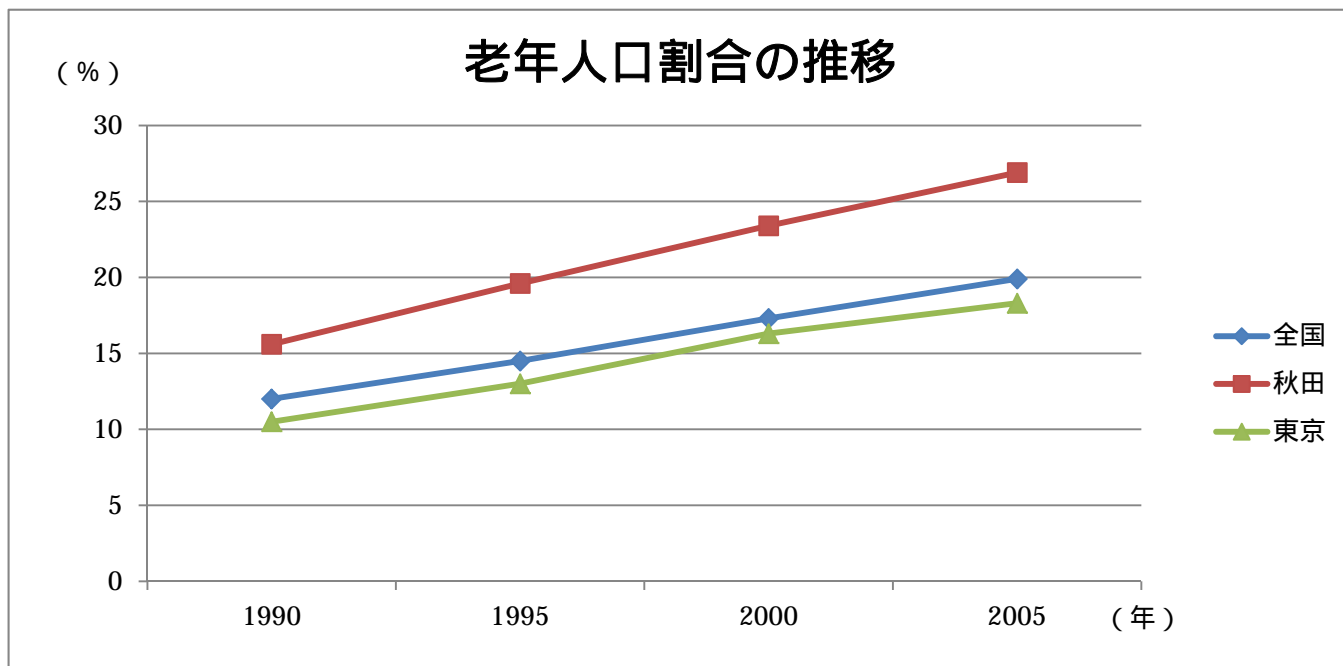
1 問題について

[図 1]のグラフは 1990 年・1995 年・2000 年・2005 年の国勢調査の結果にもとづいて、我が国の「老年人口割合の推移」を表した折れ線グラフです。このグラフには縦軸に全人口に占める老年人口の割合、横軸に年代を表しています。[図 2]は、同様に、年少人口割合の推移を表しています。

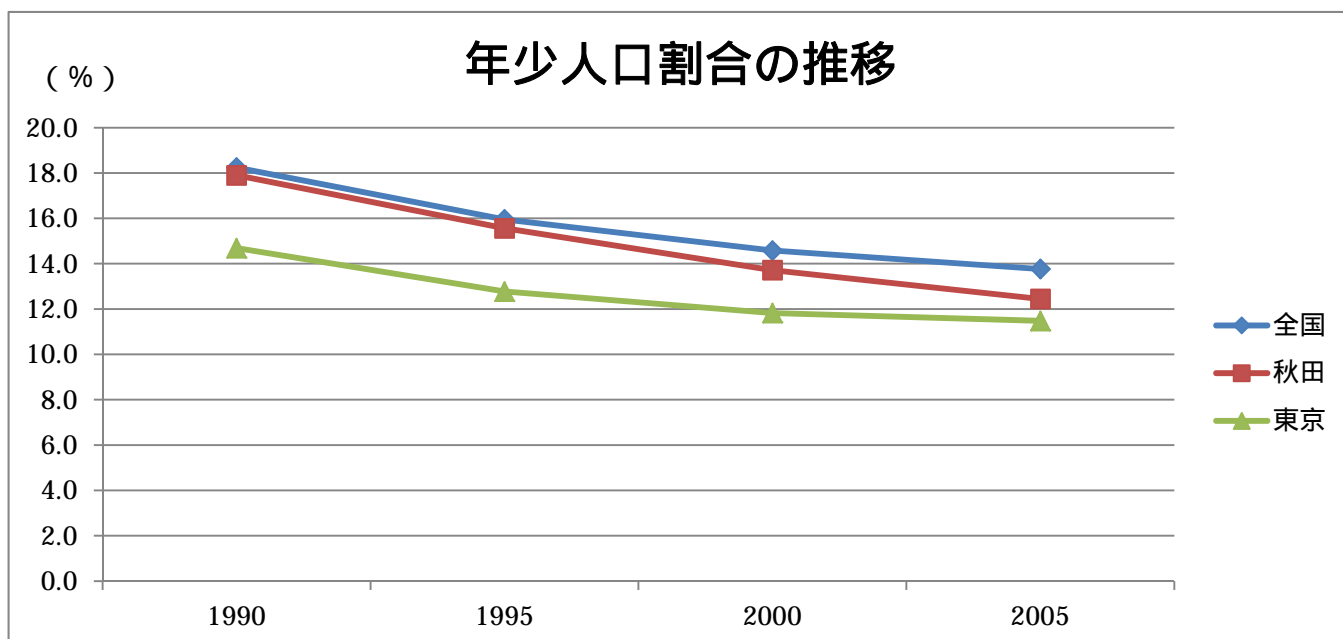
全国平均と、大都市を代表して東京都、地方都市を代表して秋田県を抽出しています。これらを見て、日本の人口問題といわれる少子高齢化について、その特徴を正しくとらえ、将来の人口について予測させたい。

「少子化が進むことにより、社会にどのような影響（年金、医療、介護などの社会保障問題）が生じるのでしょうか」などの問題を考える前に、少子高齢化の実態を生徒たちに正しくとらえさせることをねらいとする。

[図 1]



[図 2]



2 授業について

(1) 本時の目標

- ・自分たちが住む都道府県のデータをグラフ化し、その変化について読み取ることができる。
- ・日本の人口の特徴（都市に人口が集中していること、地方の高齢化が進んでいること）について読み取ることができる。
- ・データから、将来の日本の人口について予想することができる。

(2) 本時の流れ

	主な発問	予想される反応	留意点
導入	<p>今から出す食品は、日本のどこかの都道府県で一番よく食べられている食品です。この2つはどこの都道府県でしょう？</p> <p>1 チーズ、ワイン、ケーキ、ミネラルウォーター、外食も好き！</p> <p>2 乾うどん、そば、ほうれん草、さやまめ</p> <p>これらの県についてグラフを見てみましょう。</p>	<p>1 おしゃれな感じ！ 若い人が好きそう！ 東京都</p> <p>2 お年寄りが食べそう 秋田県</p>	<p>1、2それぞれのイメージは？</p>
展開	<p>展開 2つのグラフの提示</p> <p>この2つのグラフは、それぞれ何をあらわしたグラフでしょうか？</p> <p>老年人口割合の推移 年少人口割合の推移</p> <p>展開 二つのグラフから読み取れることは何でしょうか？</p> <p>全体の傾向（データを読む）</p> <p>地域的特色（データ間を読む）</p>	<p>展開</p> <p>・1990年から2005年にかけて上がっている 高齢者が増えている、ということ</p> <p>・1990年から2005年にかけて下がっている 年少人口割合</p> <p>・老年人口は増え続けている。</p> <p>・年少人口割合は下がり続けている。</p> <p>・東京都（大都市）は、老年人口割合が小さく、秋田県は、老年人口割合が大きい。</p>	<p>・少子高齢化、人口に関するデータであること</p> <p>・取り上げられている都道府県やグラフの推移に注目する</p>

	<p>グラフの比較(データを越えて読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年人口割合のグラフで、東京都(大都市)が全国平均に近いのはどうして? <p>展開 自分が住んでいる都道府県は?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が住んでいる都道府県のグラフは、どのようになるか予想しましょう。 ・自分が住んでいる都道府県のデータを見て、グラフに書き入れてみましょう。全国や他府県と比較して、どんなグラフになる? 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都(大都市)でも、秋田県(地方)でも、年少人口割合は減っている。 ・全人口に占める東京都の割合が大きいため。 ・2つのグラフに、自分の都道府県の数字をもとに書き入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市に人口が集中していることを読み取る。 ・秋田県に近いか、東京都に近いか?
<p>まとめ</p> <p>少子高齢化について、都市と地方とであらわれる課題や背景が異なりそうである。次の時間に、それらについて考えよう。</p>	<p>このあと、日本全体と自分の都道府県の人口はどのように推移するか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老年人口は増え続ける、年少人口は減り続ける。 ・全体として、人口減。 	

生徒が書き入れるグラフの例(沖縄県の場合)

